

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	宝山公園等管理事業			230260	担当課	夜久野支所	
	開始年度	平成18(2006)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	衣川 正彦		
	歳出費目	款)総務費	項)総務管理費	目)地域交流推進費	決算附属資料	92	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-		
	施策名	観光施設・交流施設を充実させる			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	夜久野地域における観光拠点である宝山公園と夜久野高原さわやかトイレを適正に維持管理する。						
	対象者	観光客及び市民	対象者数	不明		一人当たりコスト		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> あしだ土木						
	事業概要	宝山公園維持管理業務及び夜久野高原さわやかトイレ維持管理経費を計上している。 ・委託業務として、公園内の剪定や除草、公園内のトイレの清掃を行っている。 ・夜久野町平野に設置している「さわやかトイレ」を管理する朝来市へ光熱水費等に係る経費1/2を負担金として支出している。						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		委託料		宝山公園清掃等業務(公園内トイレの清掃や剪定・除草)			918	
負担金		さわやかトイレ維持管理経費負担金			460			
土地賃借料		宝山公園用地の賃借料			42			
光熱水費		トイレ電気代・水道代			33			
役務費		し尿汲み取り手数料、建物総合損害共済保険料			5			
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		1,580	1,580	1,580		
		補正予算等・・・②		0	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0		
	財源内訳	一般財源		1,580	1,580	1,580		
		国支出金		0	0	0		
		府支出金		0	0	0		
		地方債		0	0	0		
		その他特財		0	0	0		
		特定財源名称(H29実績)					頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.14/0	0.27/0	0.27/0	/	
概算人件費・・・④		1,120	2,160	2,160				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			2,700	3,740	3,740			
執行状況	執行額・・・⑥		1,030	1,458				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		65.2%	92.3%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		苦情件数	件	0 / 0	0 / 0	/ 0	0	
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		清掃回数	回	310/310	310/310	/310	310	
		単位あたりコスト		3.3	4.7			
				/	/	/		
単位あたりコスト		0.0	0.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	観光拠点の維持管理であり必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	現場管理に必要な最小限の経費である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	成果実績の積極的な情報収集ができていない。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	夜久野高原の施設を適正に維持管理することにより、観光地としてのイメージアップにつなげている。なお、対象者数の把握については、観光客数の測定が困難であるため未知数となっている。	
	今後の課題及び方向性	市の施設の適正管理を行うため、事業を継続する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園清掃の頻度や面積及び内容は？100万円程度の委託料が必要となると、その便益がどの程度あるのかと言わざるを得ない ⇒入場者・利用者の特定が難しい中、どのような捉え方があるかは引き続き要検討 ・維持管理なので統合が可能なら、31年度予算から統合を ・他の管理事業との統合も検討しては。 		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p>	<p style="text-align: center;">内 容</p>	
	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし			
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p style="text-align: center;">予算額の反映状況(対H30)</p> <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	<p style="text-align: center;">担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	「森の京都 福知山」夜久野高原花回廊整備事業			230281	担当課	夜久野支所	
	開始年度	平成26(2014)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	衣川 正彦		
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	92	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	森の京都福知山マスタープラン		
	施策名	観光施設・交流施設を充実させる			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	道の駅「農匠の郷やくの」を中心に、既存の緑化センターや放光院(茶堂)、やくの玄武岩公園などの観光スポットを繋ぎ「石仏八十八か所巡りルート」を含む「夜久野高原花回廊」を整備して夜久野高原観光施設のネットワーク化を進め、観光客及び交流人口の増加と滞在時間の延長を図る。						
	対象者	観光客及び市民	対象者数	159,000	一人当たりコスト	0.02		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> (株)西本						
	事業概要	平成25年度の花回廊検討委員会の提言に基づき、道の駅農匠の郷やくの及びその前面道路「市道中央線」に花木を植栽し花回廊整備を行う。 ・平成26年度 道の駅「農匠の郷やくの」内の回遊道路にヤエベニシダレザクラ他の植栽 ・平成27年度 道の駅「農匠の郷やくの」前面道路(市道中央線)東側約365mにテルテモモ植栽 ・平成28年度 道の駅「農匠の郷やくの」前面道路(市道中央線)西側約260mにテルテモモ植栽 ・平成29年度 道の駅「農匠の郷やくの」前面道路(市道中央線)西側約46mにテルテモモ植栽						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		工事請負費		市道中央線 植栽 テルテモモ 7本			521	
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		3,167	735	0		
		補正予算等・・・②		11	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0		
	財源内訳	一般財源		1,595	368	0		
		国支出金		0	0	0		
		府支出金		1,583	367	0		
		地方債		0	0	0		
		その他特財		0	0	0		
		特定財源名称(H29実績)		「もうひとつの京都」市町村景観整備支援事業費交付金		260	府補助金	22 頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.22/0	0.23/0	0./0	/	
概算人件費・・・④		1,760	1,840	0				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			4,938	2,575	0			
執行状況	執行額・・・⑥		2,493	521				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		78.4%	70.9%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		道の駅農匠の郷やくの入込客数	千人	141/159	142 /159	/	159	
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		花回廊花木植栽進捗状況	m	660/660	706/910	/	1450	
		単位あたりコスト		3.8	0.7			
				/	/	/		
単位あたりコスト		0.0	0.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・京都府の地域主導型公共事業(府道上夜久野停車場線拡幅)として、地域と連携し取り組んでいく事業である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・植栽後の管理は地元住民で行う。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	・夜久野高原に新たな観光ポイントが作られることにより、既存の資源を活かすと同時に滞在時間の延長等により観光消費の増加が期待できる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	花回廊の全体整備計画を変更し完成年度は遅れることとなったが、年度ごとは計画通り完成できている。また、京都府の府道拡幅工事においても当初より遅れている。そのような状況の中入込客数増加の評価が困難な状況である。	
	今後の課題及び方向性	<p>地域主導型公共事業採択にあたり、拡幅される府道へ地元住民と共に花木の整備を行うこととなっており、花回廊整備事業と合わせて協議を進める必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元住民と連携し夜久野高原の観光を結ぶ「花回廊」を整備する。 ・京都府の府道拡幅工事の進捗状況にあわせて進めて行く。 		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見		
		<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的なPRの実施方法を検討・実行する必要がある。 ・地域の活性化のためにも、本事業の採算性をとるためにも、今後も努力に期待。 ・PRの必要性。単に植えて終了となっていないか。活用するしきみを考える必要があるのでは。 ・今後も継続実施していくのであれば、PRも兼ねてクラウドファンディングの活用することはできないかなども検討していただきたい。 ・地域で管理ができないかの協議が必要。 ・花回廊の存在を多くの人に知ってもらい活用いただくため、市ホームページや観光パンフレット等での効率的な広報方法を検討いただきたい ・事業の目的はわかるが、大きくなる木なら将来の維持管理について関係部署(道路河川課)と調整を。市街地ではなくしていく方向であり、街路樹が必要なのか? 		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充				

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	地域振興センター管理事業			130205	担当課	大江支所	
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	山中 忠雄		
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	84	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-		
	施策名	観光施設・交流施設を充実させる			根拠法令等			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	京都丹後鉄道大江駅の機能を有する施設の特徴を活かし、大江地域を訪れる方々へ大江地域の魅力を発信する施設としての機能を高める。						
	対象者	大江駅利用者	対象者数	50,000	一人当たりコスト	0.10		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 大江観光(株) アムセキュリティサービス(株)						
	事業概要	地域振興センターの運営管理に係る経費。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		需用費		電気料 水道料			975	
委託料		清掃業務 警備業務 消防設備点検業務			831			
役務費		損害保険			8			
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		2,394	2,604	2,520		
		補正予算等・・・②		△ 178	△ 268	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0		
	財源内訳	一般財源		1,356	1,720	1,895		
		国支出金		0	0	0		
		府支出金		0	0	0		
		地方債		0	0	0		
		その他特財		860	616	625		
		特定財源名称 (H29実績)	地域振興センター占有者負担金		296	雑入	46	頁
		自動販売機設置貸付収入		86	土地建物貸付収入	30	頁	
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.18/0	0.33/0	0.33/0	/		
	概算人件費・・・④		1,440	2,640	2,640			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			3,656	4,976	5,160			
執行状況	執行額・・・⑥		1,827	1,814				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		82.4%	77.7%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		大江駅周辺イベント回数	回	3/3	3/3	/3	/3	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		大江駅乗降者数	人	34,634/50,000	34,634/50,000	/50,000	/50,000	
		単位あたりコスト		0.1	0.1			
						/		
単位あたりコスト		0.0	0.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	京都丹後鉄道大江駅の機能を有している。大江観光(株)、福知山商工会を置くことにより、大江を訪れる方々にきめ細やかな対応が期待できる。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	大江観光(株)は占用割合に応じた施設管理費の負担をしている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	観光客の増加及び大江地域の観光等の産業が期待できる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	現在の事業規模で継続的に実施。	
	今後の課題及び方向性	当該施設は京都丹後鉄道大江駅の機能を有するため、不可欠な施設である。関係課及び関係団体と連携し、大江地域の鉄道の玄関口としての賑わいの創造と京都丹後鉄道の利用者を増加させる政策が必要である。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
		・貸付料の徴収のいかんに関らず、光熱水費と委託料を通常の賃貸でいうところの管理費、共益費とみなして、案分することが急務 → 適切な根拠を設けて、相手方との調整にすぐに入ること		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	「森の京都 福知山」エンジョイプログラム二瀬川散策コース整備事業			130235	担当課	大江支所			
	開始年度	平成27(2015)		終了予定年度	平成29(2017)		作成責任者	山中 忠雄		
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料		86	頁		
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等		-			
	施策名	観光施設・交流施設を充実させる			根拠法令等					
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()								
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	丹後天橋立大江山国定公園第1種特別地域に指定された奇岩で有名な二瀬川渓流や参勤交代で使用された石畳が残る旧宮津街道の魅力を広く知ってもらうため、散策路、誘導看板の整備をすることにより多くの観光客にその魅力を体感してもらう。								
	対象者	市民及び観光客		対象者数	150,000		一人当たりコスト	0.20		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>								
	事業概要	二瀬川渓流の散策路の安全性を高めるため、橋梁の整備を行う。 H27 委託料: 橋梁基本設計 8,713,440円 H28 委託料: 橋梁実施設計 8,449,920円 工事請負費: 41,075,640円(橋梁架設工事) H28~H29債務負担行為で実施 H28は前金払い(40%)支出 15,700,000円 H29支出 25,375,640円								
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容					H29経費	
		工事請負費		橋梁架設工事					25,376	
関連事業										
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		26,612	27,000					
		補正予算等・・・②		0	0	0				
		繰越し等・・・③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		112	0	0				
		国支出金		0	0	0				
		府支出金		0	0	0				
		地方債		26,500	27,000	0				
		その他特財		0	0	0				
		特定財源名称(H29実績)	エンジョイプログラム二瀬川散策コース整備(過疎対策)		25,300	市債	48	頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.4/0	0.38/0	0/0	/			
概算人件費・・・④		3,200	3,040	0						
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			29,812	30,040	0					
執行状況	執行額・・・⑥		24,150	25,376						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		90.7%	94.0%						
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		進捗率	%	40/100	100/100					
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		進捗率	%	40/100	100/100	/				
		単位あたりコスト		-	-					
		発注件数	件	2/2	1/1	/				
単位あたりコスト		12,075.0	25,376.0							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	二瀬川散策路は、新童子橋(吊橋)からの眺望を楽しむ観光客が多く、恒久橋として架設することにより、歩行者の安全確保ができ、観光客の継続的な集客ができる。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	既存のものは、利活用し修繕をするなど省力化を図っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	大江山、大江山グリーンロッジ(宿泊)、二瀬川溪流、元伊勢内宮皇大神社とネットワークを組むことで、点から線への観光客の導線を生み出す必要がある。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	平成30年度以降は散策路の維持管理となる。	
	今後の課題及び方向性	大江地域は森の京都と海の京都の両方に位置づけられており、特に大江山から元伊勢内宮にかけての地域は、今後観光面での展望が特に期待できる区域であり、集客性もあることから、維持管理を継続する必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価(庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測定結果の公表が環境省のHPや地元自治会への報告のみとなっているが、市HPへの掲載も必要かと感じた。幅広く周知してはどうか ・整備されたコースを職員や教育委員会などの関係各所にも周知し、庁内での活用を促すことも需要となってくるのではないかと思います ・今後は観光客入込客へ当事業が影響しているかの把握、また当散策コースのPRを徹底されたい。 ・とても魅力的な景観を保ちながらのコース整備をされ終了された事業であると感じました。今後は観光とタイアップして魅力を発信し、観光客の増加に努めてください。 ・コストに見合った利用を促せるよう広報や取り組み等を実施していくべきである。 ・観光目的の橋りょう整備ということだが、入込客数の把握ができない点が残念。ここに立ち寄るツアーの数、ネットでの『いいね!』の数など、代替の指標を立てて大江山関連、グリーンロッジ関連の事業で成果のひとつとして今後、追尾されたい 		
	三次評価(外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <p style="text-align: center;">内 容</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし 		
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p style="text-align: center;">予算額の反映状況(対H30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充 	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	大雲記念館等管理事業			230207	担当課	大江支所		
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	山中 忠雄			
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	88・90	頁		
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-			
	施策名	観光施設・交流施設を充実させる			根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	指定管理者制度を導入し、民間の経営ノウハウを活用する中で施設の有効活用を図る。 鬼力亭は、地域食材を活用し産業振興に寄与するとともに、大雲塾舎は人材交流を目的とした宿泊施設を有する研修施設として地域の活性化に寄与する。また、京都府有形文化財に指定されている大雲記念館は歴史の継承と鬼力亭の別館として活用する。							
	対象者	市民・来館者	対象者数	18,840	一人当たりコスト	0.70			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 大江観光株式会社							
	事業概要	大雲塾舎、鬼力亭及び大雲記念館を適正かつ円滑に管理するため指定管理者制度を導入する。 施設管理運営にかかる経費である。							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		施設の管理		指定管理業務委託料			11,578		
保険料		施設の火災保険料			51				
土地借地料		大雲記念館借地料			50				
需用費		消耗品			10				
関連事業									
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		11,680	11,690	11,679			
		補正予算・・・②		32	0	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0			
	財源内訳	一般財源		11,677	11,655	11,644			
		国支出金		0	0	0			
		府支出金		0	0	0			
		地方債		0	0	0			
		その他特財		35	35	35			
		特定財源名称 (H29実績)	大雲記念館使用料			35	総務使用料	8	頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.12/0	0.18/0	0.18/0	/		
		概算人件費・・・④		960	1,440	1,440			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			12,672	13,130	13,119				
執行状況	執行額・・・⑥		11,710	11,689					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	100.0%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		施設利用者数	人	23,876/24,700	18,840/24,700	/24,700	24,700		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		企画経営会議	回	12 / 12	12 / 12	/ 12	12		
		単位あたりコスト		975.8	974.1				
		単位あたりコスト		/	/	/			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	大雲の里は地域の特産物を利用した料理の提供など地域振興に欠かせず、また、雇用の創出につながっている。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	民間のノウハウを活用することで、利用者の目線に立ち費用を抑えながら、サービスの向上につながっている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	民間経営により迅速かつ柔軟な対応、住民サービスの向上、雇用の創出を図るため有効である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	市はモニタリングによる適切かつ確実なサービスの提供確保の確認、及び改善に向けた指導・助言を行い適正な管理を図る。 民間のノウハウを活用することで、利用者の目線に立ち費用を抑えながら、サービスの向上につながっている。	
	今後の課題及び方向性	大雲記念館を鬼力亭の別館として活用するなど、施設の一体的な利用が求められている。 また、記念館の入館を予約制にするなど、人件費の削減を行っている。 指定管理者の経営努力により指定管理料を減額できるようサポートが必要である。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p>・施設を十分に活用して収益を確保できているか、本来のポテンシャルを生かしているのか、という観点で、管理者の日常業務から点検し、さらなる経営力の向上につなげていくべき → 単に、指定管理料の減を図るということではなく、拠点としての価値を最大化させるという視点が不可欠</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	観光関連施設管理事業			230261	担当課	大江支所			
	開始年度	平成24(2012)		終了予定年度	平成32(2030)		作成責任者	山中 忠雄		
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料		92	頁		
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等		-			
	施策名	観光施設・交流施設を充実させる			根拠法令等		-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()								
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	観光施設のトイレやハイキング道等の維持管理及び保全管理補助により、観光振興の推進を図る。								
	対象者	来訪者(観光客等)		対象者数	31,690		一人当たりコスト	0.12		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 大江観光(株) (株)クリア 佛性寺老人会								
	事業概要	観光地の公衆トイレの適切な維持管理をおこなう。また、ハイキング道やオノ神の藤公園など観光施設等の適切な管理のため、業務委託や補助を行っている。								
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容					H29経費	
		委託業務		トイレ維持管理業務、ハイキング道維持管理業務					2,210	
光熱水費		施設維持のための電気代、上水道使用料等					504			
保険料		建物損害共済保険料等					144			
補助		オノ神の藤の維持のため地元に経費を補助する。					81			
土地賃借料		鍋塚バイオトイレ用電線架線のための土地賃借料					15			
関連事業										
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		2,544	2,749	2,668				
		補正予算・・・②		△ 38	215	0				
		繰越し等・・・③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		2,506	2,964	2,388				
		国支出金		0	0	0				
		府支出金		0	0	0				
		地方債		0	0	0				
		その他特財		0	0	280				
		特定財源名称 (H29実績)					頁		頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.22/0	0.05/0.20	0.05/0.20	/			
		概算人件費・・・④		1,760	900	900				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			4,266	3,864	3,568					
執行状況	執行額・・・⑥		2,502	2,954						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		99.8%	99.7%						
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		大江山入込客数	人	36,553/30,000	31,690/30,000	/30,000	30,000			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		管理施設数	件	7/7	7/7	/7	7			
		単位あたりコスト		357.4	422.0					
				/	/	/				
	単位あたりコスト									

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	大江山や周辺を観光される方に安全で快適に過ごしていただくためにハイキング道や観光トイレの維持管理に必要な経費である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	効率的な維持管理を行っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	観光施設として観光者に必要不可欠な施設である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	大江山や周辺を観光される方に安全で快適に過ごしていただくためのハイキング道や観光トイレの維持管理は必要である。大江山や周辺を観光される方に快適に過ごしていただくことによって、観光客の満足度を高めることができるため有効である。必要最小限の維持管理経費により施設の適正な運営を行っている。	
	今後の課題及び方向性	現状維持において施設管理を行う。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託の実施状況について、一者随契というのはいかがなものか — 費用削減の余地がある → 市の計画・契約上ということならば、担当課と調整・協議することが必要() ・そもそも、支所がすべきものか → 今日的に言えば、観光戦略上の施設なので、ルート管理から誘客を戦略的に行う観点からDMOに移管すべき ・オノ神以外はDMOで持つ(管理する)ものではないか? トイレは観光客のための施設である ・年々、経費の増加が予想されるのでコスト削減に向けて考えられたい ・オノ神の藤に対する補助は委託での方法を検討しては 		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p>	<p style="text-align: center;">内 容</p>	
	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし			
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】		
	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充			

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	大呂自然休養村管理事業			220211	担当課	農政課		
	開始年度	平成18(2006)	終了予定年度	平成34(2022)	作成責任者	大西 誠樹			
	歳出費目	款) 農林業費	項) 農業費	目) 農業総務費	決算附属資料	168	頁		
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-			
	施策名	観光施設・交流施設を充実させる			根拠法令等	福知山市大呂自然休養村センター条例			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	豊かな自然環境の中で、農村と都市住民との交流を促進するとともに、地域の活性化を図る。							
	対象者	上川口地域住民	対象者数	1,499	一人当たりコスト	20.28			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 公益社団法人 福知山市シルバー人材センター 他							
	事業概要	指定管理者による管理運営によって、民間のノウハウを活用し効率的かつ効果的に施設の運営を行う。平成28年度に指定管理者の業務不履行のため指定を取消したことから、指定管理者が不在となったため、平成29年度においては、指定管理者の募集を行うとともに、市直営にて部分的に施設の運営を行った。							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		工事請負費		大呂キャンプ場進入路災害復旧工事			4,834		
賃金		臨時職員賃金			4,769				
委託料		大呂グラウンドゴルフ場芝等維持管理業務 他			3,807				
需用費		大呂自然休養村センター 宿泊管理棟電気料 他			2,191				
報酬、役務費、備品購入費		報酬53、役務費455、備品購入費8			516				
関連事業	大呂自然休養村整備事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		8,949	20,932	17,088			
		補正予算等・・・②		4,546	△ 1,412	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0			
	財源内訳	一般財源		13,370	9,128	16,968			
		国支出金		0	0	0			
		府支出金		0	0	0			
		地方債		0	4,000	0			
		その他特財		125	6,392	120			
		特定財源名称 (H29実績)		大呂自然休養村センター施設使用料		3,774	使用料	10	頁
			大呂自然休養村進入路整備事業(辺地対策債)		4,800	市債	50	頁	
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		1.65/0.1	1.36/0	1.36/0	/			
	概算人件費・・・④		13,450	10,880	10,880				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			26,945	30,400	27,968				
執行状況	執行額・・・⑥		11,482	16,117					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		85.1%	82.6%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		施設利用者数(宿泊利用のみ)	人	0 / 1030	0/0	/1600	1840		
		上記以外の施設利用者数	人	/	/	/11400	15000		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		施設開館日数	日	182 / 311	311/311	/ 311	311		
		単位あたりコスト		63.1	51.8				
			/	/	/				
	単位あたりコスト		0.0	0.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・農村地域へ都市住民を誘客し地域の活性化を図る施設であり民間の能力を活用しつつ、サービスの向上、経費の削減等を図るため、指定管理施設として市が取り組む必要性が高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・指定管理制度を取り入れ、民間ノウハウによる施設利用者の増進やコスト削減を行い、市の直営では非効率となる施設運営の合理化を図っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・老朽化のため建替えた宿泊棟及びグラウンドゴルフ場、キャンプ場等の施設と併せ施設利用者の増進を図り、農村と都市住民の交流による地域の活性化に寄与している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	効率性の面から、指定管理者による運営となるまでの限定した期間のみ、市直営によって運営を行うこととし、平成29年度は宿泊部門の運営を行っておらず、事業目的としては達成できていないが、指定管理者の募集を行い、新たな指定管理者として㈱丹波悠遊の森協会を指定するに至った。 ㈱丹波悠遊の森協会は、丹波市の指定管理施設である「丹波悠遊の森」を運営している団体であり、指定管理者として十分な実績を備えた団体である。	
	今後の課題及び方向性	平成30年度から平成34年度までの5年間は、新たな指定管理者として㈱丹波悠遊の森協会を指定管理者に指定し、現在指定管理者による施設運営を行っている。市外の団体が指定管理者であることから、地域に根ざした施設運営が課題であるが、現在のところ地域との連携を図り円滑に運営されている。今後この5年間で安定した運営基盤を図ることとする。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見 ・建てた市の責任が重い。指定管理者任せではなく、目的の変更や転換なども含めて市として活用方法を検討する必要がある。 ・根本的にどのような方向で運営するのか、いかに効率よく運営していくのか改善策を見つけること。 ・指定管理期間は収益性を追及し、改善が出来なければ止めることを考える。 (判得人意見) ・指定管理者任せになっている。責任ある運営姿勢が見えない。 ・目的の「農村と都市住民の交流促進」を進めていくべきでは。明確な使用方法(計画)が見えない。		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	こぶし荘管理事業			220212	担当課	農政課	
	開始年度	平成18(2006)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	大西 誠樹		
	歳出費目	款) 農林業費	項) 農業費	目) 農業総務費	決算附属資料	168・170	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-		
	施策名	観光施設・交流施設を充実させる			根拠法令等	福知山市こぶし荘条例		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	豊かな自然環境の中で、農村と都市住民との交流促進及び地域振興を図る。						
	対象者	雲原・金山地域住民	対象者数	634	一人当たりコスト	12.89		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 福知山市北陵総合センター運営理事会						
	事業概要	こぶし荘及び関連施設等において指定管理者を選定し、民間のノウハウを活用し効率的かつ効果的に施設の管理運営を行う。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		委託料		福知山市こぶし荘指定管理料			2,227	
需用費		北陵総合センター雨樋ほか修繕 他			1,208			
工事請負費		北陵総合センター非常用放送設備更新工事			647			
役務費		建物総合共済基金分担金			13			
関連事業	農村研修集会施設等管理事業(山村基幹集落センター)							
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		2,241	2,619	3,033		
		補正予算等・・・②		942	2,114	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0		
	財源内訳	一般財源		3,183	4,733	3,033		
		国支出金		0	0	0		
		府支出金		0	0	0		
		地方債		0	0	0		
		その他特財		0	0	0		
		特定財源名称 (H29実績)					頁	
							頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.32/0	0.43/0	0.43/0	/	
概算人件費・・・④		2,560	3,440	3,440				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			5,743	8,173	6,473			
執行状況	執行額・・・⑥		3,183	4,095				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	86.5%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		施設利用者数	人	8337/8800	8103/9000	/9200	9400	
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		施設開館日数	日	359 / 359	359 / 359	/ 359	359	
		単位あたりコスト		8.9	11.4			
			/	/	/			
	単位あたりコスト		0.0	0.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・地域公民館活動の拠点施設である「山村基幹集落センター」に隣接しており、他の集客施設と併せてコミュニティセンターを構成していることから市が取り組む必要性は高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・本施設に併設する施設や地域公民館の一体的な運営に向けて、一層のコスト削減を図る必要がある。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・本地域が積極的に取り組んでいる色々な地域再生、活性化事業の拠点施設としての役割を果たしている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	平成29年度の利用者数については目標を下回る結果となったが、北陵地域の再生・活性化のための拠点施設として役割を果たしている。	
	今後の課題及び方向性	施設の修繕・改修を適宜実施し、利用者の利便性向上を図ることにより集客増加を見込む。特にスポーツ施設を保有している優位性をPRし、スポーツ振興、社会体育活動の充実を図っていく。 建設後37年を経過し施設の老朽化が進んでおり、社会ニーズに適した施設改修の検討が必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見		
		<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標をより根拠のある数値に修正していただきたく思います。 ・近隣の施設と所管課の統一を検討していただきたく思います。 ・使用頻度や売り上げなど目に見える明確な指標では表せないニーズがあるようで、単純に廃止を検討するのは得策ではない。従って、近隣住民の思いを常日頃から抽出していただき、近隣住民の思いの変化のタイミングにあわせて、改修計画など今後の方針を検討いただくのがよいかもしれない。 ・今後、利用者の増が見込まれるよう、市と地域と連携して改修・修繕の計画を検討いただき、その財源も明確にしてもらいたい。 ・今後は、施設の老朽化や耐震の課題に対してはその改修計画や財源確保をしっかりと考えた上で、施設の利用者の確保に対しては利便性向上のための創意工夫し、本施設が地域振興に寄与できるよう有効な施設の管理を行っていただきたい。 		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	三段池公園ユニバーサル化事業			530206	担当課	都市計画課			
	開始年度	平成29(2017)		終了予定年度	平成31(2019)		作成責任者	丸山 政幸		
	歳出費目	款) 土木費	項) 都市計画費	目) 公園施設費	決算附属資料		202・204	頁		
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等					
	施策名	観光施設・交流施設を充実させる			根拠法令等		バリアフリー新法			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()								
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	福知山市の観光拠点である三段池公園の各施設整備を行うことで、利便性が向上し、誰もが快適に利用できる空間を提供できることを目的とする。 さらに、2021年にワールドマスターズの開催も決定していることから、スポーツ大会やイベントでの公園活用の増加も目的としている。								
	対象者	市民及び観光等による本市への来客数	対象者数	1,000,000		一人当たりコスト	0.03			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>								
	事業概要	・三段池公園内のトイレの洋式化 ・多言語案内サインの設置								
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費		
		役務費		建築確認申請手数料等				42		
工事請負費		第1駐車場・テニスコート屋外便所改修工事				27,245				
関連事業	三段池公園カルチャーパーク整備事業									
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		0	27,000	7,200				
		補正予算等・・・②		0	287	0				
		繰越し等・・・③		0	0	0				
	財源内訳	一般財源		0	487	80				
		国支出金		0	0	0				
		府支出金		0	0	0				
		地方債		0	25,800	6,800				
		その他特財		0	1,000	320				
		特定財源名称 (H29実績)	旧合併特例債		0	25,800	市債	50	頁	
			三段池公園ユニバーサル化事業基金繰入		0	1,000	基金繰入金	40	頁	
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0/0	0.25/0.03	0.25/0.03					
	概算人件費・・・④		0	2,075	2,075					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			0	29,362	9,275					
執行状況	執行額・・・⑥		0	27,287						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		-	100.0%						
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		公園内便所洋式化率	%	/	56/56	/63	/63			
		三段池公園利用者数	人	/	362,188/505,000	/507,000	/510,000			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		改修工事	箇所	/	2/2	/1	/			
		単位あたりコスト		-	13,643.5					
単位あたりコスト										

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	誰もが快適に利用できる空間作りはニーズの高い事業である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	限られた予算の中で確実に必要な項目を選択して施工している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	トイレ洋式化は利用者の観点から考慮しても有効性が高い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	誰もが快適に利用できるようにトイレの洋式化から着手し、利用率の高いトイレが結果的に美装化することもでき、利便性と快適性がアップしている。	
	今後の課題及び方向性	三段池公園内において、特に利用者の多いトイレで、洋式化を行っていない箇所から改修を行ってきたが、誰もが快適に利用できるようにするためには、多言語案内板や利用料金の決済方法などさらに視野を広げていく必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
		<ul style="list-style-type: none"> ・単に洋式化するのみならず、ユニバーサルトイレの設置についても同時並向で進めるように → 基準を満たしていても、実際に身障者の方にとっては使いづらいものがある。三段池の既存トイレにもそれが見られる。 ・大規模な施設なので財源を有効活用しながら、計画的に進められたい 		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		